

医科と歯科の連携

当院では、がんの治療中でも安心して歯科を受診できるよう、鶴岡地区歯科医師会と連携してお近くの「がん診療連携歯科医」を紹介しております。

今後の治療が円滑に進むように、事前に歯科医院を受診していただくことをおすすめします。



問い合わせ先

鶴岡市立荘内病院
地域医療連携室
TEL.0235-26-5155

歯科受診の流れ

予 約

患者さんご自身が、がん診療連携歯科医を選び『連携の歯科受診』です、と予約。外来から紹介状をもらって受診。



治療前の口腔ケア



治療後の口腔ケア

治療後もケアがのぞましいでしょう。

治療終了後もしばらくは、痛みやお口の乾燥など不快感が続くことがあります。定期的な歯科受診は大切です。

歯科受診の際は、保険証・お薬手帳・受診券(ある場合)・紹介状・使っている歯ブラシ(ブラッシング指導の為)をご持参ください。

治療前後の口腔ケア

放射線・抗がん剤の副作用の予防

がん治療を受ける方へ

受診しやすい
「がん診療連携歯科医」
をご紹介します。



お口のトラブル

口腔粘膜炎(口内炎)
を予防しましょう!

放射線・抗がん剤治療には、**口腔粘膜炎(口内炎)**や**歯肉の腫れ**や唾液量の低下により**お口の乾燥**、**味覚障害**などの副作用が現れる場合があります。

しかし、がんの治療前から正しいお口のケアを行うことで、このような副作用を**予防**、**軽減**することができます。

治療前にお口のチェックを! がん治療にともなう口腔内トラブル

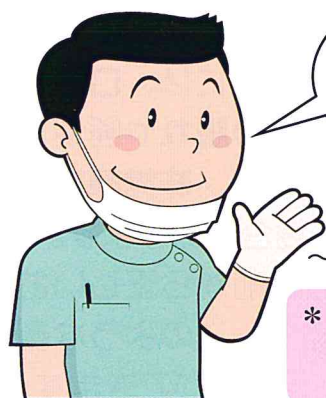
発生頻度の高いトラブルとして下記の2つがあげられます。

① 口腔粘膜炎

口腔粘膜炎は、抗がん剤や放射線が口の粘膜（舌、歯ぐき、くちびるやほおの内側など）の細胞に直接影響しておこる炎症状態で、がん患者さんの多くの方が悩まされる副作用の1つです。

② 口腔乾燥

抗がん剤や放射線治療後、唾液を分泌する細胞への直接ダメージにより唾液の分泌量が減り、お口の中が乾燥した状態をいいます。



しっかり
チェックすることが
大切です!!

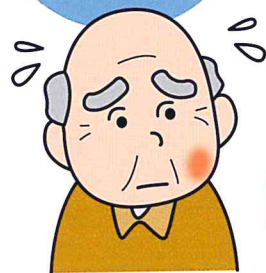
治療前後の口腔ケア
～がんの治療を受ける方へ～

*口腔ケアとは
お口のトラブルに対する治療や
予防のこと。

口腔粘膜炎があると…

痛い

しみる



味がわかり
にくい

はれる

血が出る

飲み込み
にくい



口腔乾燥があると…

お口の中が
ざらざら

虫歯に
なりやすい



やけどを
したような
ヒリヒリ感

会話が
しにくい

食事が
噛んでも
まとまらない

義歯を装着
しづらい

飲み込み
にくい

